

平成 2 6 年 第 1 5 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成 2 6 年 8 月 1 9 日（火）午後 2 時

場 所：教育委員会室

委員長	尾 上 郁 子
委員長職務代理者	石 井 正 治
委員	上 野 操
委員	松 原 秀 成
委員（教育長）	浅 野 潤 一

事務局	教育推進課長	柴 田 靖 弘
	学務課長	住 田 雅 一
	指導室長兼教育研究所長	松 井 慎 一
	学校施設担当課長	佐 藤 弥 栄
	統括指導主事	中 山 兼 一

書 記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	丸 山 継 典

<p>尾上委員長</p>	<p>開 会 時 刻 午後 2 時</p> <p>ただいまから、平成 2 6 年第 1 5 回教育委員会定例会を開催いたします。本日は 1 4 名の方からの傍聴の申し出がありますが、許可してよろしいでしょうか。</p> <p>〔各委員了承〕</p>
<p>委 員 長</p>	<p>それでは、傍聴人の方の入室を許可いたします。</p> <p>〔傍聴人入室〕</p>
<p>委 員 長</p> <p>浅野教育長</p>	<p>日程第 1、署名委員を決定します。松原委員と浅野委員をお願いいたします。続いて、日程第 2、議案の審議にまいります。</p> <p>はじめに第 4 5 号議案、平成 2 7 年度小学校教科用図書の採択についてを議題といたします。</p> <p>平成 2 7 年度から 3 0 年度まで、江戸川区立小学校で使用する教科用図書の採択にあたり、江戸川区教育委員会が委嘱いたしました教科用図書選定資料検討委員会において、江戸川区教科用図書採択のための要領及び江戸川区教科用図書採択のための細目に基づき、区民の方々の意見及び各小学校からの調査研究に基づいて、十分に検討していただきました。</p> <p>また、各教育委員の皆さんには教科用図書選定資料検討委員会の報告も参考に、全ての教科書について時間をかけてじっくりご検討いただいてまいりました。それでは、教育委員の皆さんが教科ごとに図書検討された結果を踏まえて、ご審議をお願いいたします。</p> <p>はじめに、国語からです。国語は東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書の 5 社になります。皆様のご意見をお聞かせください。</p> <p>学習指導要領では国語科の目標として、表現力と理解力の育成を通して互いの立場や考えを尊重し、言葉で伝えられる力を高めることを重視しております。</p> <p>また、論理的な思考力や言語感覚を養うこと、伝統的な言語文化に触れることなども大切です。</p> <p>どの教科用図書も、これらの目標を達成するために大変工夫しているというふうに思います。</p>

松原委員	<p>その工夫されているところなのですが、東京書籍は、教材の取り上げ方や単元の後についている手引きが丁寧です。学校図書は、子どもたちの発達段階に応じた適切な分量となっております。また、三省堂なのですが、資料編が分冊になっておりまして、工夫が見られます。言葉のポケットと読書の森という2種類に分かれていて、編集されていると思います。</p>
石井委員	<p>一方では、教育出版は、学習の手引き、振り返りなどが示されておりまして、大切なことを落とさずに指導できると感じます。全学年分冊で、ゆったりした紙面の使い方にもなっております。</p>
教育長	<p>光村図書ですが、読むことと表現活動がまとまっておりまして、具体的な学習活動がイメージすることができます。読み物に親しみやすく構成されているのが、よい点だというふうに思います。</p>
上野委員	<p>各社について皆さん、意見が出ましたけれども、私も少し補充させていただきます。</p> <p>東京書籍は、本は友達など、読書に関するコーナーが充実しているように思います。それから学校図書は、読み物教材の後に本の紹介があって、読書につながりやすい感じがいたします。それから三省堂は、読者カードの使い方や本の紹介など、読書に関する内容が充実していると思います。それから教育出版は、本の紹介で、その内容の説明しておりますし、全体的に親しみやすい構成となっていると思います。</p>
松原委員	<p>読むことについて力を入れているという視点で見ますと、光村図書だと思いました。例えば読むことについて考えようなど、読書に関する指導が充実しているように思います。</p>
教育長	<p>光村図書は、確かに読みやすい教材に力を入れているという感じがいたします。ただ、本区の場合、読書科があるわけでありまして、読み物の教材につきましては読書科の朝読書や読書表現の活動等を実施していく中で、補っていけるのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>教育出版と光村図書の2社を支持される声が多いようです。教員にとって指導のしやすさという点からの、ご意見はございませんでしょうか。</p>

教 育 長	光村図書の学習の手引きは、二段組み構造になっております。上段が読みの力を育む設問、下段が言語活動の手順になっており、理解を深めることがしやすいのではないかと思います。
松 原 委 員	教育出版は、単元名とともに読むこと目当て、これがわかりやすく書いてあります。そのため、子どもたちにつけさせたい力が明確にわかるのではないのでしょうか。
石 井 委 員	光村図書は、低学年、中学年と、とても丁寧に教材の説明をしております。一方では教育図書は、全学年にわたり、丁寧に教材の説明がされております。
委 員 長	<p>他にご意見はございませんでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委 員 長	<p>国語の教科用図書につきましては、子どもたちにとってわかりやすく、また教員にとって指導しやすいということから、教育出版ということで皆様いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委 員 長	次に、書写に移りたいと思います。書写は東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書、日本文教出版の6社になります。皆様のご意見をお聞かせください。
教 育 長	教科用図書には、楽しみながら学べるという視点も必要だというふうに思います。東京書籍の自己評価シール、学校図書のできたらシール、光村図書の点画シール等、それぞれに子どもたちの興味を引く構成になっていると思います。
上 野 委 員	初めて鉛筆を持つ入門期に着目してみますと、東京書籍は、全学年教科用図書のサイズが大きくて、フェルトペンを用いての文字指導の、他社にはない特徴を持っていると思うのです。

石井委員	学校図書は、国語の教科用図書と同様に、保護者の方へという欄を設け、何をどのように1年間学ぶのかをわかるように示していると思います。
松原委員	三省堂なのですが、姿勢、用具の持ち方、また使い方をとり上げているページ数が多いのではないかと思います。基礎を大切にしているなと思います。また、写真よりイラストで説明しているのが特色となっております。
教育長	教育出版は、ぺたぺた、ぴんなどの言葉で、姿勢の形を言葉で表現しています。裏表紙には筆の持ち方の写真が掲載してあり、振り返りもしやすいと思います。
上野委員	光村図書は、解説も多過ぎずに、子どもたちにとってもちょうどよい分量のように思います。文字の線を対比させて気づかせる工夫もあると思います。
石井委員	日本文教出版は、紙面がカラフルで分量も扱いやすいものになっていると感じます。各単元が考える、確かめる、書いてみるという学習の流れにもなっております。
委員長	実際に学ぶ立場である子どもたちにとって、学びやすい教科書、図書を選ぶということはとても大切な視点だと思っております。その点についてのご意見は、ございませんでしょうか。
松原委員	その視点で入門期の1年生の教科用図書を開いてみますと、東京書籍、また学校図書、教育出版、日本文教出版の目次の文字量、これは子どもたちの学習上の配慮を考えると、戸惑うかもしれません。
上野委員	光村図書と三省堂について言いますと、子どもたちの学習負担を考慮してか、目次ページが最小限の文字提示になっているように思います。
委員長	3年生からは毛筆の勉強が始まるわけですが、3年生の教科用図書という点で、子どもたちが実際に読み進めたときのわかりやすさという視点では、いかがでしょうか。
石井委員	例えば毛筆の手本をとり上げますと、筆圧や流れといったものを赤と黒の2色の墨であらわすか、あるいは黒い墨の濃淡であらわすかなど、どこも工

教 育 長	夫していると思います。 江戸川区は、毎年若い多くの教員が入ってきます。教える側が教えやすい教科用図書という視点も重要だというふうに思います。
松 原 委 員	東京書籍、学校図書、三省堂では、最終単元で当該年度の学習事項のまとめを載せております。学習の見通しが立てやすいと思います。また教育出版は、巻頭と巻末に学習の事項がまとめてあり、学習の達成感を意識することができると思います。
石 井 委 員	少し別な観点からお伺いをしたいのですが、国語と書写の教科用図書会社、これが異なっても大丈夫なものでしょうか。
教 育 長	基本的に学習指導要領のもとで編成されておりますので、大丈夫です。 しかし、平仮名、漢字を新しく学ぶ順番などを考えると、国語と同じ教科用図書を採択したほうが望ましいかもしれません。
上 野 委 員	今までの委員の皆さん方の意見を聞いて、今、教育長が言われたように、平仮名や漢字の学習の順序によって学ぶ側にとっても、指導する側にとっても、大切なことではないでしょうか。 その点で、国語と同じ教育出版のほうが、妥当ではないかと思いますが、いかがでしょうか。
委 員 長	ご意見は、もうよろしいでしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
委 員 長	国語との関連や使いやすさという点から、総合的にみて、書写の教科用図書については教育出版を選定するという点でよろしいでしょうか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
委 員 長	次、社会です。社会科の教科用図書は、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版の4社になります。ご意見をお聞かせください。

教 育 長	社会科では、問題解決的な学習の充実がとても重要だというふうに思います。この点から、各教科用図書を見ていきますと、どれも内容構成や資料の提示の仕方に工夫がされているというふうに思います。
松 原 委 員	その点ですが、東京書籍の工夫は、学習の進め方としてつかむ、調べる、まとめる、生かすという学習の流れが示されていて、小單元ごとのページにも示されております。また、資料の量も充実しておりまして、先生方が活用しやすいものではないかなと思います。
上 野 委 員	教育出版では、学習の手引きが随所に入っていて、学習の見通しが持ちやすい内容になっていると思います。各ページの資料の量も充実しておりますし、見やすいように工夫されていると思います。
石 井 委 員	光村図書でも、各学年での学習の進め方を説明してありまして、写真や図、統計資料などは見やすく、かつ、要点を押さえたものになっております。6年生の教科用図書は文字情報も多く、中学校の教科用図書に近いと感じております。
上 野 委 員	日本文教出版ですが、子どもたちの疑問が記載されておりまして、そこから学習が展開していくという構成になっています。また、資料集としても豊富な情報量だと思います。
委 員 長	社会科の学習展開や資料に基づいた発言がございましたけども、他の観点からはいかがでしょうか。
教 育 長	<p>中学年で学習する消防の仕事のページを見ていきますと、各教科用図書ともに、該当のページにさまざまな資料を載せております。</p> <p>東京書籍では、消火活動をする人々の写真と、火事の件数を合わせて載せることで、火事を減らす方法などについて考えさせる内容になっております。</p>
石 井 委 員	その消防の仕事についてですが、教育出版も写真とイラスト、両方載せております。グラフも火事の件数、負傷者数、原因と、豊富なものになっております。
教 育 長	光村図書は、大きな写真を2枚載せていて、火災は重大事故であることを

	<p>印象づけています。日本文教出版は、グラフや地図を豊富に載せ、資料の読み取りを重視しています。</p>
上野委員	<p>子どもたちにとって見ると、教科用図書の配列における見やすさなども大切になると思います。東京書籍と日本文教出版は、学ぶべき代表的な事項を先に掲げて、その事項に関連した教材を後半に記載しています。</p>
松原委員	<p>社会科の授業では、地図とか年表などの基礎資料を効果的に活用する力を育てていくことが不可欠だと思います。</p> <p>その点で、東京書籍は年表の数、地図の点数、写真の点数などがバランスよく掲載されておりまして、社会的事象の意味について考える力を育てるのに有効ではないかと思います。</p>
委員長	<p>さまざまなご意見をいただく中で、日本文教出版と東京書籍に絞られているような思いがいたしますが、子どもたちが問題解決的な学習を進める上で、資料や事例がバランスよく取り上げられている点からも、東京書籍ということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委員長	<p>次に、地図です。地図について意見を伺います。東京書籍と帝国書院の2社です。ご意見をお願いいたします。</p>
教育長	<p>地図は、社会科の学習を進める上で大切な教科用図書でありますけれども、社会科だけでなく、他の教科の学習などにおいても活用することが多いものであります。他の教科でも地名が出てきた際には、地図で繰り返し確認していくなど、日常の中で折に触れて使いやすいものが望まれます。</p>
松原委員	<p>その地図なのですけれども、地名の位置を確認するだけではなく、社会的事象の様子や関係、それから自然環境とのかかわり合いなども調べることができます。また、統計資料もたくさん記載されております。地図の見方や地図の索引の引き方も学んで、必要に応じて地図を自由に活用できる力も身につけさせたいものだと思います。</p>
石井委員	<p>東京書籍は、A4判で大きくて文字が見やすくなっております。大きな</p>

	<p>りました分、物差しを使っての実寸の計算もしやすくなっています。またユニバーサルデザインに配慮していることで、各都道府県の区別特徴も明確になっています。</p>
上野委員	<p>そうですね、この2社とも大変工夫がされていて魅力的です。</p> <p>まず帝国書院は、各ページに地方ごとに色分けがされており、調べたい場所の検索がしやすくなっていると思います。また、地図の使い方、学び方が段階を追って示してあります。</p>
松原委員	<p>やはり地図に必要なのは、地図の記号とか縮尺の取り扱いなどの基礎知識について、見やすく掲載されていることだと思います。</p> <p>この点については、帝国書院も東京書籍も大切にしているように思います。</p>
委員長	<p>地図の見方や学び方という件でのご発言はいただきましたけども、その他の観点ではいかがでしょうか。</p>
石井委員	<p>統計資料という観点で申し上げます。</p> <p>帝国書院は、統計資料が充実しておりまして、一つの学習から関連した事柄をいろいろな面で知ることができるようになっております。こういうことで学習を広げていくことが可能になっていると感じます。</p>
上野委員	<p>先ほど帝国書院について言いましたけど、今度は東京書籍について申しますと、統計資料が充実していると思いますし、大きくて見やすいです。子どもたちにとって見やすいということは、地図にとっては重要な要素だと思います。</p>
教育長	<p>帝国書院は、国土や工業、暮らしと環境などのカテゴリー別に示されております。また、主な農作物だとか工業用製品などの生産業の割合など、さまざまなグラフの読み取りも学ぶことができるようになっています。</p>
石井委員	<p>統計資料では、世界の主な国と日本との関係をつかむことが大事だと思います。帝国書院は、日本との結びつきを詳しく示していると思います。</p>
委員長	<p>皆様の意見が、かなりまとまったと思います。地図の使い方等の記載や関連した資料の豊富さ、総合的に見て、帝国書院ということではいかがでしょう</p>

	か。
	〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
委員 長	次に、算数です。算数は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の6社です。ご意見をお願いいたします。
教 育 長	学習指導要領では算数科の目標として算数的活用の充実、基礎的、基本的な知識、技能の定着及び、その活用が挙げられております。どの教科書も、子どもたち自らが数学的な考え方を学び、知識や技能の定着を図ることができるよう、さまざまな工夫がされているというふうに思います。
松 原 委 員	その点でいいますと、東京書籍、大日本図書、教育出版なのですが、立式や計算方法を考える際に、重要なツールとなる数直線図の書き方が、子どもたちが自力で解決できるような工夫がされていると思います。
上 野 委 員	東京書籍は、全体的に数直線を意識した構成になっていると思います。また、課題から数直線を書くために必要な観点や手順が明確で、丁寧に示されていると思います。
石 井 委 員	少し別な観点から、ノートづくりを挙げたいと思います。6社ともにノートづくりの例を示しておりまして、ノートづくりを通して数学的な思考力、表現力が高まるよう、いろいろと工夫していると思います。
松 原 委 員	そのノートづくりの観点なのですが、大日本図書は、ノートの例と学習の進め方が同時に掲載されていると思います。一方、教育出版は、友達のノートの例を手本という、その構成を紹介しております。
教 育 長	東京書籍のマイノートをつくろうでは、記録として必要な項目や学習感想の書き方の例示が豊富であります。さまざまな見方や考え方を学ぶことができます。
委 員 長	教科書の構成上の工夫については、いかがでしょうか。
石 井 委 員	学校図書、教育出版では、高学年が合本となっております。啓林館では、

	<p>1年生と高学年が合本です。また大日本図書では、学年内の単元の間の振り返りなどを重視しておりまして、全学年が合本となっております。</p>
松原委員	<p>東京書籍のほうなのですが、身体的な負担を配慮してだと思っておりますけど、1年生から5年生までを分冊、6年生のみを合本としています。これは、子どもたちの発達段階に応じた配慮が感じられます。</p>
委員長	<p>その他では、いかがでしょうか。</p>
上野委員	<p>東京書籍では、目次に関連する前の学習だけでなく、後の学習も示しておりまして、学習のつながりを強く意識できるようになっていると思います。また、振り返りコーナーで子どもたちが自力で自分の理解に応じて内容を確認したり調べたりして、学び直せるように工夫されている点が評価されると思います。</p>
石井委員	<p>日本文教出版は、ワイドA・B版を採用していることで発展的、あるいは補充的な問題ともに、問題の量が豊富になっております。一方では、量が多いことが少し負担になるというようなことも考えられます。啓林館は、補充問題に力を入れています。ただし、発展的な問題は少ないように感じられます。</p>
教育長	<p>東京書籍は、補充的な問題も発展的な問題も非常にバランスよく構成されているというふうに思います。本区の少人数指導に適しているというふうに思います。</p>
委員長	<p>皆様のご意見を伺いますと、学習課程や個人差への配慮の点から、算数は東京書籍ということではいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委員長	<p>次に、理科です。理科は東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5社です。ご意見をお願いいたします。</p>
教育長	<p>学習指導要領では理科の目標に、自然に親しむ、見通しを持って観察、実験をする。問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるなどが挙げられてお</p>

	ります。どの教科用図書も観察、実験等を多く取り上げておりまして、子どもたち自ら、科学的な知識の定着を図ることができると思います。
上野委員	東京書籍、それから大日本図書、啓林館、この3社に共通しているところは実験の結果と、そこからわかることを区別できるように明確に示しているということです。子どもたちに事実の認識と検討、実験の結果を意識させることができると思います。
石井委員	東京書籍は、結果をもとに考察する場面をわかりやすく表記しておりまして、科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりするなどの学習活動が充実しております。
教育長	4学年全体を通して見ますと、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版が、より多くの観察、実験を取り上げているというふうに思います。
石井委員	特に大日本図書は、物づくりの内容の多くを取り上げておりまして、科学的な体験の充実を図るということで、子どもたちが実感を伴いながら理解を深めていくことが可能になると考えます。
委員長	また啓林館は、別冊表を用いて観察や記録などのときに、そのまま持ち出せるという本になっていると思いますけども、この点についてはいかがでしょうか。
上野委員	今、委員長からございましたので、ワークシートを別冊で用意しているという啓林館の工夫は、比較的経験の浅い先生方にとっては便利なのではないかなと思いました。
松原委員	その点なんですけども、ワークシートは子どもたちの実態に応じて先生方が工夫して作成したもので教えてほしいと思います。必ずしも別冊が必要ということではないのではないかと思います。
委員長	教科用図書の構成上の工夫については、いかがでしょうか。
石井委員	どの教科用図書もカラー写真ですとか絵などをふんだんに使っております。東京書籍、学校図書、教育出版は、写真や資料を大きく示しております

	<p>ので、子どもたちが見やすく、またわかりやすい、そういう物になっております。</p>
松原委員	<p>大日本図書には、科学史を扱っている部分があります。子どもたちに知的好奇心、興味関心を高める点においては、大変よいのではないかと思います。</p>
上野委員	<p>皆さんの意見を聞いておりまして、それを比較衡量させてもらいますと、大日本図書は他と比較して、全体的にバランスがよいように感じますが、いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>皆様のご意見を伺いますと、大日本図書の評価が高いようです。理科は、物づくり等の体験的学習や児童の使いやすさという点から、大日本図書ということではいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委員長	<p>次に、生活です。生活科は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、光村図書、啓林館、日本文教出版の7社です。皆様のご意見をお聞かせください。</p>
教育長	<p>生活科では、具体的な学習や体験を通じて自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えたり、生活上必要な習慣や技能を身につけさせると、目標の中で言われております。この点から見ても、体験的な学習が非常に重要であるというふうに思います。</p>
石井委員	<p>生活科の教科用図書は、低学年の子どもたちが使うということを考えますと、使いやすさが重要なポイントだろうと思います。そのために学習の内容構成は、どのようなものになっているかというのは重要な視点になってまいります。東京書籍は、スタートブックを設けまして、1年生が生活科の学習に入りやすいように工夫していると考えます。</p>
松原委員	<p>啓林館なのですが、動植物の観察をするための情報を別冊にしてありますので、持ち運びがしやすいことも考えられます。また危ない、こんなときどうするなどの表示を設けて、安全面について子どもたちにしっかりと考えさせられるような工夫がしてあります。</p>

上野委員	学校図書ですが、上下巻とも大きく内容を五つに分けて、学習内容を明確にするための工夫がなされており、巻末や裏表紙の学習のまとめは、保護者の方々にとってもわかりやすい工夫がされていると思います。
教育長	日本文教出版は、子どもたちの活動の幅を広げるために、まとめ方や伝え方の例が他に比べて多く取り上げているというふうに感じます。子どもたちの活動の幅を広げやすいのではないかと思います。
石井委員	東京出版や大日本図書は、発展的な内容を充実させており、こうすることで、子どもたちの活動に幅を持たせていると感じられます。
委員長	各教科用図書とも、子どもたちが知的好奇心や、それから本当に探求心を抱いたりということで、さまざまなことを考えてするような工夫がされていると思いますけど、他にはございませんでしょうか。
上野委員	光村図書ですが、單元ごとに細かい学習カードが掲載されておりまして、先生方が体験活動の進め方の目安になるだけでなく、体験をして自ら気づく学習を進めていくヒントになると思います。
松原委員	そういう点で生活科では、自然の不思議さとか面白さを実感したり、また地域の方々と交流するなど、学習活動を中心的に行って、気づきの質を高めていきます。江戸川区の地域性が重要ではないでしょうか。
石井委員	その江戸川区の地域性という観点でいきますと、教育出版は、地域の安全を守る人といったしまして、江戸川消防団の事例を写真で取り上げております。また東京書籍も、地域の交通安全を守る人として、江戸川区の事例を取り上げております。
教育長	東京書籍は、江戸川区の公共施設などの写真が他に比べて多く掲載されているように思います。地域への愛着や地域とかかわろうとするという好奇心が、子どもたちに生まれるのではないかと思います。
石井委員	東京書籍には、図書館の利用についての記述も豊富で、読書科との関連を考えますと、江戸川区の実態に合っているように思われます。

委員 長	<p>その他、よろしいでしょうか。皆様の意見を伺いますと、東京書籍を支持する声が多いようです。生活科の教科用図書については、江戸川区の地域性を踏まえて、東京書籍ということではいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委員 長	<p>次に、音楽です。音楽は、教育出版、教育芸術社の2社になります。皆様のご意見をお願いいたします。</p>
教 育 長	<p>学習指導要領では、音楽に関する用語や記号を音楽活動と関連させながら理解することなど、表現と鑑賞の活動の支えとなる指導内容について、共通事項として示されております。</p>
松 原 委 員	<p>教育出版は、掲載数も豊富で、さらにページの右にわかりやすく記載がされております。</p>
石 井 委 員	<p>教育長が先ほどおっしゃられた共通事項を指導するということは、音や音楽のよさを感じとらせ、さらに考えたり判断する力を育てる上で、とても大切なことだと思います。</p> <p>教育芸術社は、教育出版ほどの豊富ではありませんが、今申し上げた共通事項の内容を十分に指導できると判断いたします。</p>
教 育 長	<p>考えたり判断する力の育成という意味では、言語活動の充実がいわれております。感じ取ったことを言葉で表現することなど言語活動については、教育芸術社が豊富に扱っているというふうに思います。</p>
委 員 長	<p>また音楽では、表現及び鑑賞の活動を通して音楽に対する感性を育てるなど、豊かな情操を養うという点もあります。表現や鑑賞についてはいかがでしょうか。</p>
上 野 委 員	<p>表現や鑑賞についてですが、教育出版は教材数が豊富だと思います。さらに3学年の富士山のところでは、折り込みのページで富士山の写真を大きく掲載し、富士山の雄大さを子どもたちに伝わるような工夫がされているように感じます。</p>

石井委員	<p>一方で器学について申し上げますと、器学についてはどちらも鍵盤ハーモニカ、打楽器、リコーダーの構え方や演奏の仕方などについて大きな写真やイラストでわかりやすく説明していると思います。</p>
松原委員	<p>鑑賞ということについてなのですけれども、教育出版の資料が豊富です。資料が豊富であることは、学習意欲が高まる上で重要なことと考えます。また、教育出版は諸外国の音楽についての資料も多いです。音楽への興味関心が高まる工夫がされていると思います。</p>
委員長	<p>また音楽は、専科だけではなく学級担任が指導する学年もあります。この点は、いかがでしょうか。</p>
教育長	<p>教育芸術社の構成は、段階的、系統的に学びに発展しております。このことは指導へのポイントがつかみやすく、わかりやすいのではないかと思います。</p>
上野委員	<p>皆さんのいろいろな意見をお聞きしましたが、子どもの学びにとっては興味関心を引く工夫が重要だと思います。やはり資料が豊富なほうが、先生の選択の幅も膨らむでしょうし、子どもたちの主体的な学習にもつながるのではないかと考えます。資料の量やわかりやすさという点では、教育出版が評価されると思われませんが。</p>
委員長	<p>他にご意見はございませんでしょうか。豊富な資料が子どもたちの主体的な学びや先生方の指導の選択の幅を増やすという点から、音楽の教科用図書につきましては、教育出版ということではいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委員長	<p>次に、図画工作です。図画工作は、開隆堂、日本文教出版の2社です。ご意見をよろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>学習指導要領の図画工作科では、表現及び慣習の活動を通して感性を働かせながら作り出す喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養うと目標の中で言われています。</p>

	<p>この点から見ても、制作意欲を持たせることがとても重要だというふうに思います。</p>
石井委員	<p>その子どもたちの制作意欲というものを高めるために、2社ともに作品の事例を充実させておりました、とてもいいと思います。開隆堂は、江戸川区の宇喜田川、十八軒川を題材にした子どもたちの共同作品を事例に挙げてもいます。</p>
上野委員	<p>日本文教出版は、楽しんですること、考えること、工夫すること、見たり感じたりすることと、四つの視点が明確だと感じました。</p>
石井委員	<p>開隆堂は、作品事例がたくさん載っておりますので、子どもたちにとって作品のイメージが持ちやすくなっていると考えます。目次のページに各作品で使用する用具や材料が記載されていて、準備もしやすいように思います。</p>
上野委員	<p>開隆堂のほうを申しますが、開隆堂は振り返ってみようのコーナーを設けて、自分の作品や友達の作品の鑑賞を通して、交流する場を設けているように思います。</p> <p>先ほど浅野教育長が図画工作の目標について言われていましたが、多くの子どもたちが作業に取り組む時間や自分でつくった作品を通して、いわゆる自他の理解、楽しく他者とかわるという気持ちを養えるということも、図画工作の場合は大切な観点ではないかと思います。</p>
委員長	<p>また、作品をつくっていく上でカッターナイフやはさみ、彫刻刀など、危険を伴う道具を使う場合がありますけれども、安全面での配慮も大変必要かと思います。</p> <p>その点に関してのご意見は、いかがでしょうか。</p>
教育長	<p>日本文教出版は、気をつけようという注意マークをつけたコーナーをつくり、注意喚起をして取り扱い上の安全に配慮しております。また、使用する用具の使い方の振り返りもできるように工夫されていると思います。</p>
松原委員	<p>その点で開隆堂ですけれども、注意すべき点に安全マークをつけ、写真とかイラストを使用して、わかりやすく示してあります。また、材料や用具を安全に使うことはもとより、片づけ、そのマークを使用して、後片づけも大</p>

委員 長	<p>切な学習内容であることを子どもたちに示している点が、よいと思います。</p> <p>他にご意見はございませんか。豊富な作品事例や身近な題材を取り上げていること、また、より丁寧な安全指導等を総合的に見て、図画工作の教科用図書は、開隆堂ということではいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委員 長	<p>次に、家庭です。家庭は、東京書籍、開隆堂の2社です。皆様のご意見をお聞かせください。</p>
教 育 長	<p>学習指導要領では、家庭生活を大切に作る深慮を育む、家族の一員として生活をよりよくしようとするのが目標にあります。この点から見ていくことが大切だと思います。</p>
上 野 委 員	<p>東京書籍は、家庭の学習を他教科領域と関連して示しているのが特徴だと思います。単元、それから内容で家庭生活と家族の大切さに着目できるようになっているところが、評価できると思います。</p>
石 井 委 員	<p>開隆堂は、高学年の家庭の学習が中学校に向けてどのようにつながっているのかという流れが、視覚的にも押さえられるようにできているのが特色だと思います。</p>
松 原 委 員	<p>上野委員に加えてなのですが、東京書籍では、スリーステップ構成で問題解決的学習を促しているのです。今、注目されている学習ですがけれども、思考力、判断力、表現力、この三つの育成についても適しているのではないかと思います。</p>
石 井 委 員	<p>開隆堂は、ページ左右を分野別に色づけしてありまして、目次と関連づけているので、教員も教えやすいのではと感じます。加えまして用語のまとめが巻末にありますので、振り返りをする際にも、教員にとっても助けになると思われます。</p>
教 育 長	<p>東京書籍は、写真やイラストが大変大きく、わかりやすいというふうに思います。それから左ききの子どものために写真も掲載してありまして、</p>

委員 長	<p>活用することができます。</p> <p>家庭科の授業というのは食育の推進のため、食事の役割や栄養を考えた食事の取り方など、調理等も考慮していかなければならないと思います。</p> <p>その点は、いかがでしょうか。</p>
上野 委員	<p>東京書籍は、日常の食事と調理の基礎について多くのページ数が割かれていると思います。調理実習の前に買い物のページが入っていたり、副菜の栄養素を考えさせたりしている点が、評価できるのではないのでしょうか。</p>
松原 委員	<p>栄養素の主な働きなのですけれども、2社とも食品の分類表については大変わかりやすく掲載されているのではないのでしょうか。</p>
教 育 長	<p>調理学習の視点から見ますと、東京書籍は、作業手順がわかりやすいように色分けしたり、写真をわかりやすく掲載したりしているなどの工夫がされており、イラストを活用しまして、子どもたちが読みやすいように基本的な知識を説明していて、これもわかりやすい説明となっております。</p>
石井 委員	<p>開隆堂は、日常生活に活用できるように、基礎的、基本的な知識及び技能を多く取り上げております。写真や図が大きく配置されておりまして、活動している子どもの写真もありますので、子どもたちがイメージしやすくできていると感じます。</p>
松原 委員	<p>一方、東京書籍のほうは、朝食から健康な1日の生活という単元で、生活リズムを意識させる内容を取り扱っております。問題解決的学習を取り入れて、自分の今の生活を振り返られる内容となっているところがいいと思います。</p>
委員 長	<p>他にご意見はございませんでしょうか。皆様のご意見をもらっておりますと、東京書籍を推す声が多いと思います。家庭の教科用図書については、問題解決的な学習ができる点が基礎、基本を確実に習得できるという点から総合的に判断して、東京書籍ということはいかがでしょう。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>

委員 長	次に、保健。保健は、東京書籍、大日本図書、学研教育みらい、文教社、光文書院の5社です。ご意見をお願いいたします。
教 育 長	小学校の体育科保健領域においては、身近な生活における健康安全に関する基礎的事項を第3・4学年で8時間程度、第5・6学年で16時間程度配当して学習することになっております。
石 井 委 員	教育長のご発言の少し補足といいたしめようか、発展的に意見を申し述べますと、身近な生活の中から自分の健康について理解し、実際に自分の生活につなげることのできる学習を取り入れている、そういうような教科用図書がよいと思います。
上 野 委 員	5社、どの教科用図書も直接書き込めるようになっています。身近な生活の中から、実際につなげて活用するといった工夫もなされていると思います。
松 原 委 員	<p>学習課程という視点で見ますと、どの教科用図書も毎時間スリーステップの学習課程になっていまして、主体的に子どもたちが学習できるような構成となっております。</p> <p>特に東京書籍、学研みらいは、単元の最後に学習の振り返りを行って、学習内容の定着への工夫がされております。</p>
委 員 長	また江戸川区では、がん予防教育や交通事故防止にも大変力を入れておりますので、その点についてのご意見はいかがでしょうか。
上 野 委 員	<p>今、委員長が申したがんについてです。どの教科用図書も5・6年の生活習慣病やたばこの害で、取り扱われております。</p> <p>特に東京書籍と学研教育みらいは、発展的な取り扱いでがんについて、さらに詳しく説明されていると思います。</p>
石 井 委 員	一方で交通事故防止につきましては、どの教科用図書も写真やイラストをもとに、子どもたちが主体的に学習できるように構成されていると思われま
教 育 長	交通事故防止などを子どもたちの理解をより深めるためには、教材や資料の提示が必要だというふうに思います。

松原委員	<p>その点で学研教育みらいは、写真、イラストが多くて、車の死角とか内輪差など、具体的で非常にわかりやすく書いてあるというふうに思います。</p> <p>また別の視点になりますが、教科用図書の資料という点では、いろいろなサイズの教科用図書がありますので、その辺についての議論も必要かと思えます。</p> <p>そのサイズを含めた資料といいましょうか、考えていますと、光文書院と大日本図書は、コンパクトにはまとまっているのですがけれども、少し資料が小さいかなと、そんな感じがいたします。文教社と学研みらいは、A4サイズを生かしております、資料が大きくて見やすいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。あとは、よろしいでしょうか。皆様の意見を伺っていたと思いますけれども、保健につきましては、資料を活用しながら、子どもたちが自己の生活において生かせるような内容になっている点から、学研教育みらいということではいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委員長	<p>ありがとうございます。以上をもちまして、平成27年度より使用する小学校教科用図書の採択が全て終了いたしました。これで第45号議案、平成27年度小学校教科用図書の採択の審議を終了いたします。</p> <p>ここで委員長として、一言ご挨拶をさせていただきます。去る5月30日より、平成27年度使用の教科用図書の見本本の展示から本日まで教科書の採択事務を行ってまいりました。冒頭にも話をさせていただきましたけれども、教科用図書選定資料検討委員会の委員の皆様には、各見本本を詳細に比較、検討していただきました。また、各学校からの研究報告書、区民の皆様の意見等を参考にして、報告書をまとめていただきましたこと、また厚く御礼を申し上げます。</p> <p>また、各教育委員の皆様には委員としての立場を踏まえ、たくさんの時間を費やしていただき、見本本の比較検討を行い、それぞれの立場から信念をもって意見を述べていただきました。おかげさまをもちまして本日、終了することができました。皆様のご苦勞に対しまして、委員長として心より御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、本件を終了させていただきます。</p> <p>次に、移らせていただきます。次に、第46号議案、教育講演会「発達障</p>

	<p>害のある子どもたちへの支援の仕方」に伴う教育委員会後援名義の使用承認についてを議題とします。内容につきまして、事務局から説明をお願いいたします。</p>
住田学務課長	<p>では、お手元の資料をごらんいただきたいと思います。申請者は、特定非営利活動法人全国LD親の会です。後援名義の対象事業ですが、行事名は教育講演会「発達障害のある子どもたちへの支援の仕方」で、事業の目的は、東京東部地区の発達障害のある子どもと、その保護者の支援及び親の会の設立支援となっております。10月11日に江戸川区総合文化センターの会議室で、発達障害のある子どもの保護者、支援者、教育福祉関係者、その他を対象に講演会を開催するもので、参加費は無料となっております。</p> <p>次のページ以降に詳細が記載されておりまして、関係書類がついておりません。説明は以上でございます。</p>
委員長	<p>少し見ていただきまして、何かご質問、ご意見はございますか。</p>
上野委員	<p>これは初めてやるのですか、今までやっているのですか。</p>
学務課長	<p>江戸川区で初めての後援の依頼ということになります。</p>
上野委員	<p>もう少し大勢集めるのかなと思ったら、意外と。</p>
委員長	<p>人数が。</p>
上野委員	<p>94名という定員ですね。このあたりは、どういうふうにお聞きに。</p>
学務課長	<p>この全国LD親の会については、全国的に大きいフォーラムや何かをやる場合と、それから地区ごとで、こういった講演会などを開催する場合があります。全国的に例えば国立オリンピック記念青少年総合記念センターみたいなところでやるときには、文科省であるとか厚労省とか東京都教育委員会の後援なども取って、これまでも行っているというようなところがありまして。</p> <p>今回は、東京の東部地区の親の会の設立等も目的の一つにして、こういった会を開催するというので、何と申しますか江戸川区の文化センターのほうで講演会を行うというような形になるということになります。</p>

石井委員	この会の規模についてお伺いしたいのですが、正会員、準会員、賛助会員、どのぐらいの規模での会になっておりますでしょうか。
学務課長	正会員、準会員の内訳はわかりませんが、この会のホームページによりますと、学習障害など発達障害のある子どもを持つ保護者の会の全国組織ですというふうになっておりまして、昨年6月現在で39都道府県の47団体、約3,200名が参加をしておりますというような規模になっていると思います。
石井委員	ありがとうございます。もう一つよろしいでしょうか。 講演をされる方なのですが、この方のバックグラウンドは、どんなものでしょうか。
学務課長	この先生は植草学園短期大学福祉学科児童障害福祉専攻の教授ということで、千葉にあります植草学園短期大学の先生をしている方で、ホームページを検索すると、他の地方や何かでも、こういった障害児や何かに対する講演を幾つかやられているような形であります。
石井委員	もう一ついいですか。 もし、江戸川区の教育委員会で後援をするということになったときに、会場費というのは、それでもかかってくるのでしょうか。
学務課長	区が使う場合でも、文化センターの会場費はかかりますので、後援した場合でもかかります。
石井委員	わかりました。ありがとうございます。
松原委員	意見というよりも感想といたしますか、規約も本当にきちんとしておりまして、今のいわゆる特別支援教育という視点でも、本区のそういった児童生徒が増えているという状況もありまして、私自身はいいことだなというふうに思っているところであります。
上野委員	一つ質問ですが、さっき今回の、この講演会の目的は、東部地区というのは北東ですね、隅田川から東側。こちらの地区の会員を集めようということ

学 務 課 長	<p>ですか、もう全国的な組織だから、ここも組織の中に入っているわけですね。</p> <p>会員も、何といたしますか個人でも、そこに入ることはできるのですけれども、お聞きしますと、それぞれの地区で親の会ということで団体といたしますか、そういうのが組織されていて、その団体としても、この会に入ることができる。あるいは団体の中で、またさまざまな活動をするということが行われているようで、この辺の地域に、発達障害関係の親の会というのが、今はないものですから、そういったところができるようなことを狙って、こういったことを行うことも目的の一つだということでもあります。</p>
委 員 長	<p>あとはよろしいでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委 員 長	<p>では、他になければ、第46号議案は原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委 員 長	<p>それでは、原案のとおり決定させていただきます。</p> <p>続いて、日程第3、教育関係事務報告にまいります。教育委員会後援名義の使用承認についての報告をお願いいたします。</p>
柴田教育推進課長	<p>教育推進課から1件、教育委員会後援名義の使用申請についてご報告申し上げます。資料にありますとおり、行事名、第27回三校一園合同音楽会、主催者は三校一園PTA連絡協議会会長でございます。26回目の後援名義の申請でございます。</p> <p>事業目的でございますが、児童生徒の音楽活動の成果をPTA、地域の方々に披露し、相互の連携と親睦を深める。参加校につきましては、小岩小学校、東小岩小学校、小岩第一中学校の3校でございます。実施日は平成26年11月3日(月)、小岩アーバンプラザホールにおいて3校の児童生徒、保護者、地域の方を対象に開催されます。経費の徴収等はありません。</p> <p>後援の内容でございますが、後援名義の使用と会場使用料、それから附帯設備仕様料等の助成についての後援の依頼でございます。</p>

委員 長	何か質問、ご意見はございますか。
石井委員	1園は、どういうところ。
教育推進課長	小岩第一幼稚園でございまして、これは平成23年に閉園となっておりますが、この地域としては、それ以後も三校一園という名称で、この事業が行われております。
委員 長	あと、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
委員 長	他になければ、ただいまの報告事項を了承いたします。 続いて、教職員の人事についての報告にまいります。この報告事項は人事に関する案件であるため、江戸川区教育委員会会議規則第13条に定める秘密会により審議したいと思っておりますが、この発議に賛成の方は挙手をお願いいたします。 〔賛成者挙手〕
委員 長	ありがとうございます。賛成多数と認めます。これより会議は秘密会となります。 〔秘密会により報告〕
委員 長	続きまして、いじめ電話相談についての報告をお願いいたします。
松井教育研究所長 (指導室長)	それでは、平成26年度7月分、いじめ電話相談という資料をごらんいただければというふうに思っております。7月は4件、5回の電話がありました。小学校2年生の男子が1件、5年生の男子が2件、3回、高校1年生が1件。 小学校2年生については父親から、小学校5年生の男児につきましては、2件とも母親から、高校1年生の男子につきましては、本人からの電話がありました。いずれも匿名で、学校名等は明かさなかったということと、学校

	<p>や教育委員会への連絡、これを希望しないというものでした。</p> <p>なお、この後、同じ人から電話がかかってきたということはございません。以上でございます。</p>
委員 長	<p>ありがとうございます。何かご意見、ご質問はございますか。</p>
上野 委員	<p>そうすると、相談の電話がかかってくる人の目的というのですか、意味は何なのですか。</p>
指導 室長	<p>幾つかありますけれども、やはり主訴を解決したいというのがありますが、中には、まず誰かに話を聞いてほしいと。保護者の方としては、子どもからこういうことを聞いたのだけれども、どうすればいいのかということの相談なんかもあるものですから。あとは学校に言うと、また変なふうに思われるとか、かえって変な指導だと助長されるとか、いろいろな心配が保護者の中にはあります。</p> <p>ですので、これを相談員が受けとめながら、なるべく主訴の解決に向けては、相談だけでは解決しないということはお伝えはするのですが、もう少し様子を見てみますとか、そういった方もいらっしゃいます。</p>
上野 委員	<p>そうすると、学校やその他に知られたくないけれど、いじめられている場合に、どういうふうにしたら、今後いじめられないようになるかとか、そういうことを聞くのですか。</p>
指導 室長	<p>そういうアドバイスを求めるときもありますし、とりあえず相談してから、そのときの状況で次を考えようというふうに思っているのかもしれませんが、それでも。</p>
上野 委員	<p>でも、電話かかってくるわけだから、そのときの電話の対応で、よく話しやすくしてあげるということも大切なことですね。</p>
指導 室長	<p>やはり相談員は専門家ですので、しっかり訓練はされております。</p>
委員 長	<p>ご両親からの相談と、本人からの相談というのは、また違うと思うのですが、ご本人からの場合とか、あと学年というか、そういうことによって相談員というのは、適切な方が交代して相談にあたっているとかという形に</p>

指導室長	なっているのでしょうか。 まず、電話がかかってきたときには当番制でやっていますので、当番が電話を取ります。まず、その内容を受けて、その相談内容から、誰が担当するかというのを検討して決めていきます。継続する場合ですね。
委員長	わかりました。ありがとうございました。 他になければ、ただいまの報告事項を了承いたします。 その他に報告事項はございますか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
委員長	それでは、以上をもちまして、平成26年第15回教育委員会定例会を終了いたします。お疲れさまでした。 閉会時刻 午後3時28分